

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 人材活躍支援課
 担当名: シニア活躍支援担当
 内線: 4543

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B47	シニアの多様な働き方支援事業			一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	シニア活躍推進事業費		
事業期間	令和 2年度～ 令和 8年度	根拠 法令	労働施策総合推進法第5条		針路	06	人生100年を見据えたシニア活躍の推進	SDGsゴール	8	
					分野施策	0603	高齢者の活躍支援	SDGsターゲット	8-1	
1 事業概要	シニアの働き方への希望は多様である。きめ細かな就業支援や起業など会社勤務以外の働き方の提案により、シニアが個々の意欲や希望に沿って働くことができるよう支援する。			5 事業説明						
ア セカンドキャリアセンター運営事業 事務局の必要品及びチラシの発送必要数が当初の見込みを下回ったこと等による減額 △3,693千円				(1)事業内容						
イ シニアの起業等支援事業				ア セカンドキャリアセンター運営事業 168,155千円 県内9か所(※)において、シニアをはじめとする全ての求職者を対象に、就職相談から職業紹介まで一体的に実施する。 ※ さいたま市、所沢市、草加市、川越市、加須市、春日部市、深谷市、秩父市、伊奈町						
ウ シニア求人のローラー開拓				イ シニアの起業等支援事業 4,947千円 起業や在宅ワークなど会社勤務以外の働き方を事例発表会を通して提案する。 ウ シニア求人のローラー開拓 38,663千円 セカンドキャリアセンター内にシニア求人開拓の専門部署を設置し、シニア求人のローラー営業により新規企業を開拓するとともに、開拓した求人企業による面接会を開催する。						
2 事業主体及び負担区分	ア及びイ (県10/10) ウ (国10/10)			(2)事業計画						
3 地方財政措置の状況	なし			ア セカンドキャリアセンター運営事業 ・ 利用者数 目標: 12,950人(うち、シニア: 10,380人) ・ 就職確認者数 目標: 1,550人(うち、シニア: 1,250人)						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2.6人=24,700千円			イ シニアの起業等支援事業 ・ セミナー参加者数 目標: 300人 ・ 何らかの取組を始める意欲を持った人の割合 目標 80%以上 ウ シニア求人のローラー開拓 ・ 新規開拓企業数 目標: 500社 ・ 合同企業面接会 目標: 10回						
				(3)事業効果 身近な地域での就業支援や多様な働き方の提案により、シニアが意欲や希望に応じて生き生きと働くことが可能となる。 (4)県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ハローワーク、各市町村労働部門、その他シニア支援に関する機関と適宜連携し、支援活動を行っていく。 (5)補正予算の概要 事務局の必要品及びチラシの発送必要数が当初の見込みを下回ったこと等による減額						
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,693	国庫支出金							△3,693	208,072
現計額	211,765	38,663							173,102	

事業内訳書

事業名	シニアの多様な働き方支援事業		
単位事業名	セカンドキャリアセンター運営事業	予算額	△ 3,693千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△358	—	就職支援セミナー立会、市町・委託先企業との打ち合わせが当初の見込みを下回ったことによる減 △238人分
需用費	△2,848	—	事務消耗品、リーフレット等の発送必要部数が当初の見込みを下回ったことによる減
役務費	△205	—	電話料金、後納郵便料金等が当初の見込みを下回ったことによる減
使用料及び賃借料	△282	—	会議室使用料の減 9回分
合計	△3,693	—	